

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。  
 最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。  
 (こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

## 家庭園芸用 GF オルトラン水和剤

有効成分：アセフェート…50.0%

農林水産省登録 第 21819 号

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
花き類・観葉植物	アブラムシ類、 アザミウマ類	1,000 ~ 1,500 倍	100 ~ 300mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5 回以内	散布
	アオムシ、ヨトウムシ類					
きく	マメハモグリバエ、 オオタバコガ					
ストック	コナガ、ハイマダラノメイガ					
宿根アスター	ヨメナスジハモグリバエ					
カーネーション	コナガ					
ひまわり	タバコガ					
斑入りアマドコロ、リアトリス	ハマキムシ類	1,000 倍	-	植付時	本剤:1 回 アセフェート:5 回 以内	10 分間 球根浸漬
オンシジウム	カイガラムシ類					
グラジオラス	アザミウマ類					
芝	スジキリヨトウ、 シバツトガ	0.25 ~ 2L/ m <sup>2</sup>	1 ~ 2L/m <sup>2</sup>	発生初期	5 回以内	散布
	タマナヤガ、ケラ					
	シバオサゾウムシ成虫					
	アカフツヅリガ					
さくら	アザミウマ類	1,500 ~ 2,000 倍	200 ~ 700mL/m <sup>2</sup>	発生初期	5 回以内	散布
	アメリカシロヒトリ					
	モンクロシャチホコ	1,000 ~ 1,500 倍				

つつじ類	ツツジグンバイ	1,500 倍						
	アザミウマ類	1,000 倍						
つばき類	チャドクガ	1,500 倍						
	アザミウマ類	1,000 倍						
樹木類(つつじ類、つばき類、さくらを除く)								
キャベツ	アザミウマ類	1,000 倍		収穫 30 日前まで	本剤:1回  アセフェート:2回以内(但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)			
	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、タマナギンウワバ	1,000 ~ 1,500 倍						
	アブラムシ類、アオムシ、コナガ	1,000 ~ 2,000 倍 1,500 ~ 2,000 倍						
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ			収穫 21 日前まで	1回			
非結球あぶらな科葉菜類(ケール、からしな、ルッコラ、四川搾菜(茎葉)、畑わさび、畑わさび(葉)を除く)	アブラムシ類	1,500 倍						
カリフラワー	ヨトウムシ	1,000 倍		収穫 14 日前まで	3回以内			
レタス		1,000 ~ 1,500 倍						
非結球レタス	アブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガ	1,000 倍		収穫 30 日前まで				
ばれいしょ	ヨトウムシ	1,000 ~ 1,500 倍						
	アブラムシ類、ジャガイモガ				本剤:2回以内			

	テントウムシダマシ幼虫、ヨトウムシ	1,000 倍	200 ~		アセフェート:3回以内(但し、植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)			
いんげんまめ	アブラムシ類、インゲンマメゾウムシ			収穫 14 日前まで	3回以内			
だいず	アブラムシ類、ハスモンヨトウ			収穫 60 日前まで	3回以内			
えだまめ				収穫 21 日前まで				
たまねぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ			収穫 21 日前まで	5回以内			
にんにく	アブラムシ類、アザミウマ、ネギコガ			収穫 7 日前まで	2回以内			
未成熟とうもろこし	アブラムシ類、アワノメイガ			収穫開始 7日前まで	1回			
オクラ	アブラムシ類、フタテンミドリヒメヨコバイ			収穫 21 日前まで	2回以内			
葉しょうが	アワノメイガ				1回			
しょうが				収穫 45 日前まで	本剤:1回以内 アセフェート:2回以内(但し、株元散布は1回以内、散布は1回以内)			
やまのいも	アブラムシ類、ヤマノイモコガ			収穫 14 日前まで	3回以内			
ごぼう	アブラムシ類				1回			
あずき	アブラムシ類、アズキノメイガ、ヨトウムシ							
さんしょう (果)	チャノキイロアザミウマ	1,500 倍	200 ~					

実)			700mL/m <sup>2</sup>			
かき	カキクダアザミウマ、カキノヘタムシガ、チャノキイロアザミウマ、フジコナカイガラムシ			収穫 45 日前まで	2回以内	
いちじく	アザミウマ類	2,000 倍			1回	

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びアセフェートを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

●2022年11月9日付：にんにくの変更

●2021年12月8日付：さんしょう（果実）、カリフラワー、非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、ルッコラ、四川搾菜（茎葉）、畑わさび、畑わさび（葉）を除く）、ごぼう、あずき、葉しょうがの追加、たまねぎ、オクラ、未成熟とうもろこし、芝の変更

## ●効果・薬害等の注意

- ①調製した薬液はできるだけ早くその日のうちに使用してください。
- ②さくらに使用する場合、夏季高温時には薬害を生じるおそれがありますのでさせてください。
- ③適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

## ●安全使用上の注意

- ①体調のすぐれない時は薬剤散布を行わないでください。
- ②誤飲・誤食などのないように注意してください。
- ③本剤は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ④かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑤使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ⑥作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ⑦散布中及び散布当日は小児、ペットなどが近付いたり立ち入らないよう注意してください。

治療法：本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

## ●魚など環境に対する注意

- ①ミツバチ及び蚕に影響がありますので注意して使用してください。

## 薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)